

♠ 剣道部 OB・OG 会奮闘記 ♠

“佐藤先生、三倉さんというひとから電話です”。電話がかかってきたのは 2024 年 2 月だったと記憶している。三倉さんという名前知っているのは、唯一人剣道部の大先輩である。電話の要件は、今度 50 周年記念があるから、それに併せて剣道部の OB・OG 会をやりたい、お前が準備しろ（もう少しやさしい言い方でした）というものだった。学生を中心とした飲み会はあっていると思うが、剣道部の OB 会らしきものは、落合先生の教授就任祝い以来していない。剣道部の学生に OB の連絡先を聞いてみたが、ほとんどわからない。武道場にこれまでの部員の本札があるということで、久々に武道場にいった。土曜日の練習時間にあわせていったが、一人素振りをしているだけだ。話を聞いてみると練習時間の 30 分以上でないと他の部員は来ないという。我々のときは部活の開始時間に”日向時間”は取り入れていなかったが、今は積極的に取り入れているようだ。武道場の OB・OG の本札があったが、ところどころ抜けているようであり、当然ながら連絡先も書いていない。結局三倉先生が篠懸会に教えてもらった情報、落合先生の祝賀会の際の連絡先を中心にメールでご連絡した。日時とお店は三倉先生に決めていただいた。直前で来る、来ないの連絡があり、お店のひとに“もう変更はありませんね”と念を押された翌日に参加するという連絡、当日にもご連絡のなかった 1 期生の先輩も来られたが、人数が増える分は、お店は対応してくれた。場所は和食の橘、合計 22 名で、それぞれの近況や剣道部時代の思い出についてもお聞きすることができ、大変楽しい時間をすごせた。会計は、濱砂先生、米田先生が行ってくれて、大変助かった。また三倉先生のアイデアで剣道部時代の写真も送ってもらい、当日は三倉先生が持参したプロジェクター、スクリーンで懐かしい写真を見て盛り上がった。今回三倉先生がなぜ私に連絡してきたかはいまだに謎だが、あの連絡のおかげで、久々の OB・OG 会を開くことができとても良かった。現役時代抜群の勝率（勿論剣道の試合）であった三倉先輩に感謝である。

〔文責：佐藤勇一郎 12 期生（宮崎大学医学部病理学講座腫瘍形態学分野 教授）〕



- | | |
|---------|--|
| 前列右から | 三倉剛先生(2 期)、東強先生(1 期)、西田育弘先生(1 期)、関屋亮先生(2 期) |
| 後列右から | 米田由香里先生(14 期)、中尾保秋先生(12 期)、西昇平先生(3 期)、今井茂郎先生(4 期)、
永井公洋先生(4 期)、佐藤勇一郎(12 期) |
| その後列右から | 濱砂亮一先生(13 期)、立山真吾先生(14 期)、大津一弘先生(7 期) |
| 最後列右から | 猪瀬将之先生(42 期)、座間味陽先生(41 期)、湯地宏明先生(14 期)、久保田竜生先生(14 期)、
井手口武史先生(20 期)、西平賢作先生(20 期)、宇治野幸弘先生(6 期) |
| 挿入写真 | 廣兼民徳先生(6 期) |